竹取物語

山東菴京山作
香蝶樓國貞画
編

Gokan:(No. 018
Gôkan:(No. 020)
Taketori Monogatari.
Part 1. Book 1---5

へ13
3690
1

竹取物語初編上
京山著作
國貞畫

京山著作
國貞畫図

初へん下

竹取物語初編上

門 へ13
號 3690
巻 1

春雨のつまびらかなる物語の親ありと源氏ふらひ竹取をよろこ
ぶ人をもかさの雫のあるべき屋のあるべきさまにとかの
本と見しつ此竹取にて例の新作をとをもふ竹ふたぐ
ゑ種ハうゑけるとて筆採る春の初あれどかの三清を壽でかの
松若と庭の梅若とを時代と世話ふ縄合ーしるへ殖屋が歳
玉の盆養とやいふべき佛の石ふ鉢を硯と火鼠の毛ゝ筆やし
ありける短才の作るまゝ詞ふ玉の枝ハるりれど画工ハ名ふ珠
を磨けり從来ゝやゝ見紙ふ玉ふ稚子の伽さしるべ
根もなく葉もなき竹取のゝ処あるとゝゝありけり

同初冬上梓
發兌

山東庵京山識

發端
竹とり翁

京五条坂つため
同国の修行者
黄金星の玉の木
竹取の翁が娘
竜玉
山賊火嵐の五郎
吉田の少正八公連
梅若丸
吉田の部下仏の鉢助

○竹六やどの庭

「ひとこちのひとよう〳〵もよいうんかんてねそ者ん世ねさ子もかうてはいよそ人ねそてくにけうえ」

ひやうう竹ざうくのようえうまそくせんそあ屋酒やよ

(一)

(四)をうとおりひい二四ドをかく〳〵ふやどる作ごとのうこををうくくくちをくくくあをおのよをうふてあるうやうふてあふのうのふのこのてうい

おのもいてうあ子ア子こ

「さまをのるア子こ

しふこれまでうが

るいうう子んよ

つよそあてろ

かたい

ゆ

(五)

(二)かくもるくふうふ

さしひらくとらくと

とびてあるんのん

らぶひんらくくや

ぶりやきまひ

まきまトどこさ

あるそあさうと

くつけ

ものの

ちさの

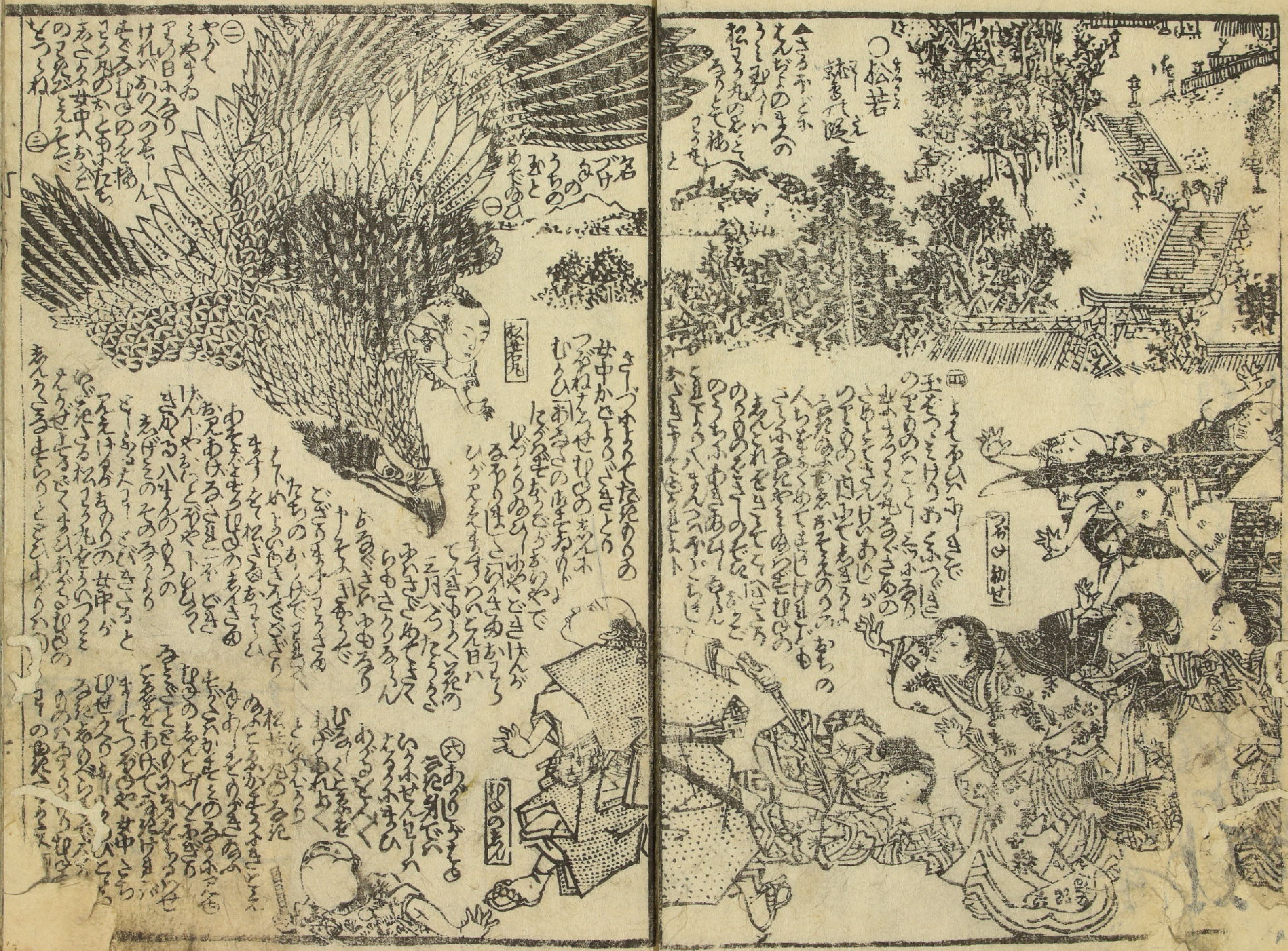
大むぐらつまの

小ぎらい泥のうん

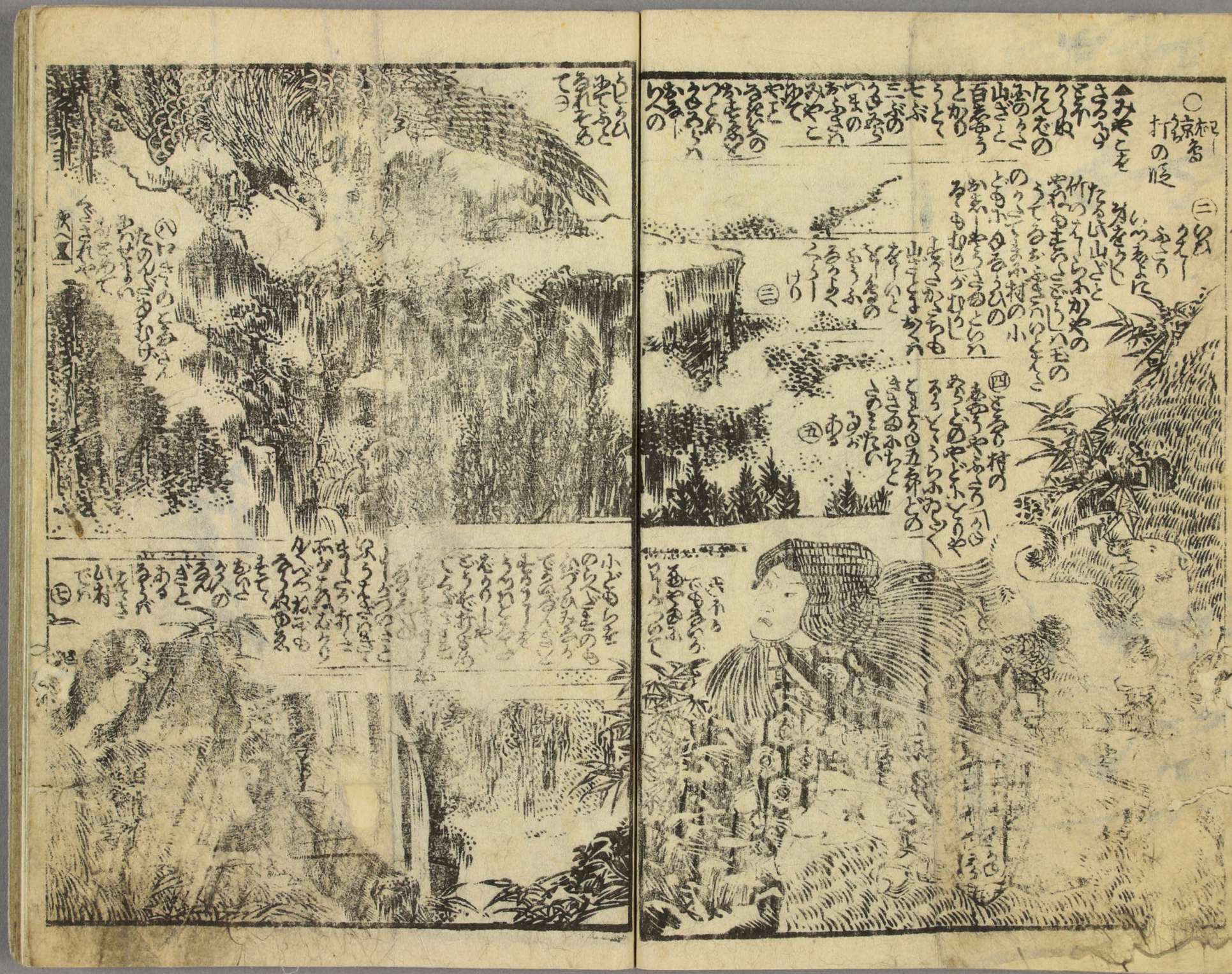
ちろのようえうぬい

るけれどもうい

どれうけてうやかやと(三)



松若
松若丸



京山作
國貞画

竹取物語傳

松若略

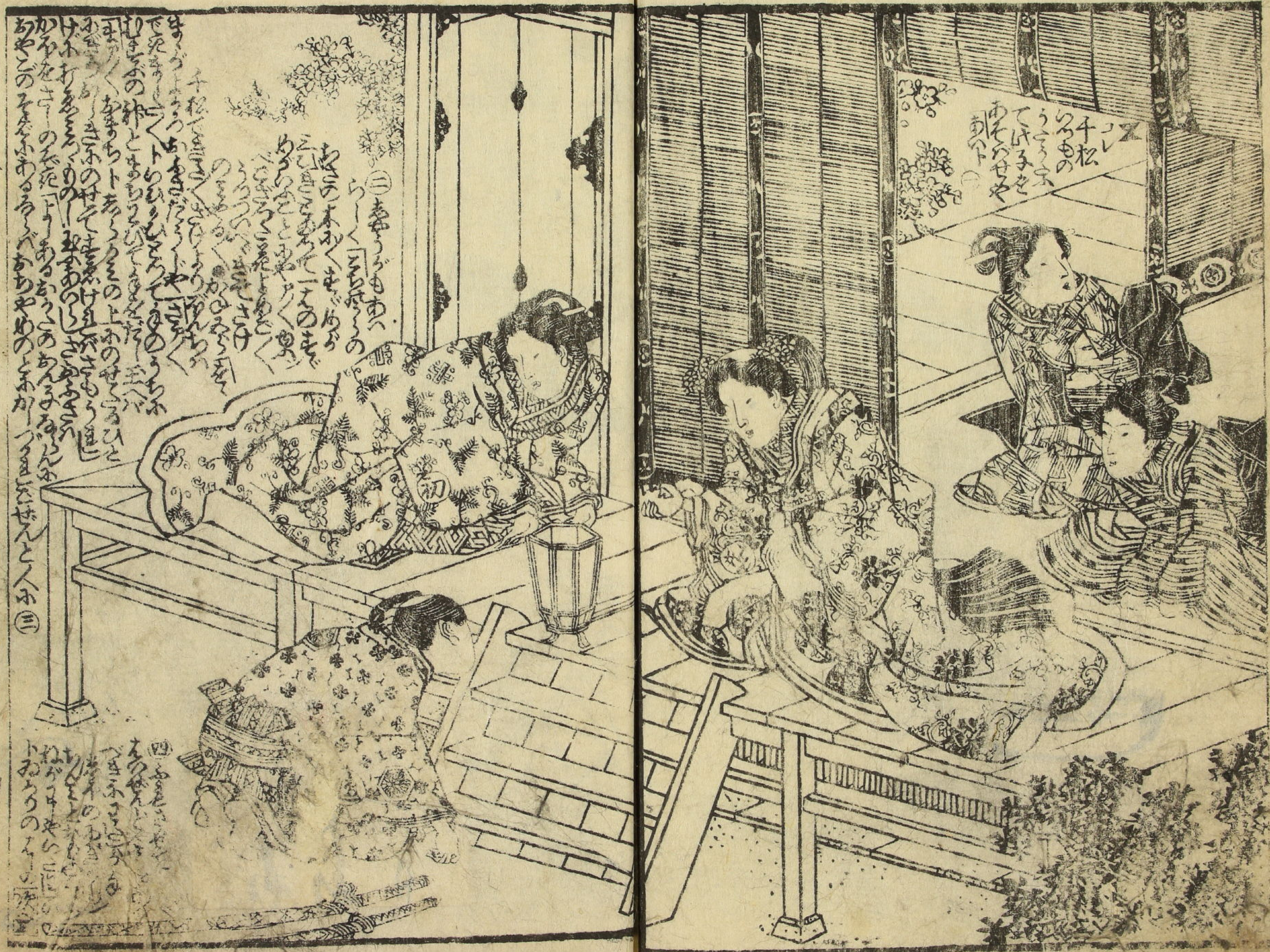
京巧作豊

國画

森治

板

○加賀五郎やとの屋
美艶仙女香
黒油美艶香
菊村東五郎


コレ千松
ひろものの
うちにて
はこを
あそばせや
おへト (一)
(二) 春ながらもあへ
らしく
此木あくまでぬり
この木のうへ
あらためて
うつつで
のぞめる
千松でござりますか
まくらもとの
下へ
むすめの
まくらもと
かのなさけ
あやこの
とおもひしが ぜんと人に (三)
(四)

○吉田のお西
おくゆえの涙
竜

京山作
國貞画